

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

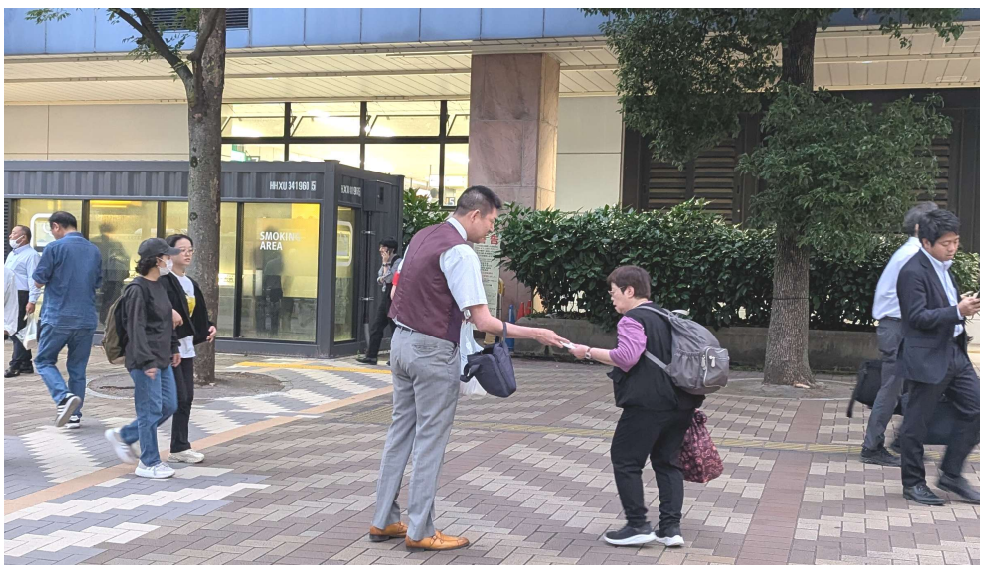
発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

6月5日 環境の日宣伝 鉄道東京 関東支部 事業団高齢者部会

清掃関連の職場ではたらく労働者の待遇改善で綺麗な駅・公園・都市を実現しよう。労働組合に加盟して職場改善、業界改善を一緒に実現しよう。



鉄道東京地本・関東支部・事業団高齢者部会の仲間が訴えました



赤羽駅前には駅の利用客で沢山の人が行き来していました



高齢者の就労実態について
事業団高齢者部会・北部支部
岩山 真一 副会長



駅構内の清掃業務について
鉄道東京アクセス協議会
小野 議長



JR東日本・グループ会社について
鉄道東日本本部
下山 書記長



ゴミ収集作業で働く仲間について
関東支部
小林 委員長

集・運搬・施設管理の下請け丸投げの増加とともに、作業現場では事故も増えています。低賃金の派遣労働者、アルバイトや非正規の労働者も増加。夏場の暑いときに休憩時間も少なく、過酷な業務につきながら低賃金で働いている。健康保険、厚生年金、雇用保険も適用されず不安をもって働いている。未来ある若い人に安心して仕事や生活のできる環境をつくり正規労働者を増やし、下請けの運賃や人件費の値上げが必要です。」と訴えました。

東京事業団高齢者部会の岩山副会長から「環境問題で一番大きな問題は地球温暖化です。ここ百年の平均気温は1.4%上昇し、降水量50ミリ以上の猛烈な大雨の発生回数は40年前に比べると、およそ2倍に増加となり様々な地域に災害をもたらしています。私たち公園清掃業者も建設現場等、屋外で働くものにとつて熱中症など大変な問題となっています。地球温暖化をなくすためには、国民全員が少しでも「酸化炭素の排出を減らす」ことが求められています。どんな小さなことでも行動を今日から始めようではありませんか!」と訴えました。

仕事帰りに参加いただいた新宿分会の2名の仲間をはじめ、当日結集された仲間のみならず、ティッシュビラ作成やハンドマイクなど準備に協力頂いた鉄道東京の皆さん、ありがとうございました。

【常任執行委員 江部 明子】

6月5日は環境の日、6月は世界環境月間です。東京都本部は赤羽駅西口で18時30分〜世界環境デー宣伝行動を行いました。参加者は30人、建交労ヒラ入りティッシュ500ヶを街頭の歩行者に配布しました。

東日本鉄道本部下山書記長から「東京都、神奈川、埼玉県周辺のようにフルタイムで働いても、賃金が上がりず低賃金の職場です。家族手当、住宅手当、退職金もありますが、非正規は正社員と同じようにフルタイムで働いても、賃金が上がりず低賃金の職場です。

駅の清掃を行っているのはJR東日本環境アクセスという会社で、JR東日本の100%出資の子会社。6割が非正規のパートや契約社員です。正社員には定期昇給、家族手当、住宅手当、退職金もありますが、非正規は正社員と同じようにフルタイムで働いても、賃金が上がりず低賃金の職場です。

同一労働同一賃金の観点から、少しでも待遇差を解消しよう。会社側に求めて運動を進めています。」と訴えました。鉄道東京地本アクセス協議会の小野議長は、アクセス労働者の就労実態に加えて、今の大国による競争を批判し「平和であつてこそ労働者は働ける。」と訴えました。

関東支部小林委員長は「東京23区の清掃事業は東京都から23区に移管以降、清掃合理化により積載量が増え、車両火災、ゴミ収

5月30日(土) 第五福竜丸展示館見学会に参加して

東京建設・関連部会と建築設計支部いしずえ分会の共催による「第五福竜丸展示館へ行こう！」に参加しました。当日は建交労の他、新建東京支部関連の方も参加し、村上久美子都本部副執行委員長の進行で見学会が行われました。語り部の方から1954年のビキニ環礁におけるアメリカの水爆実験や、第五福竜丸が保存・展示されるに至った経緯について説明を受けました。乗組員23人は、爆発後に降り注いだ

「死の灰」を浴び、当時は放射能の危険性について十分な知識もなく、素手で灰を払ったり作業を続けたりしたため、発熱や倦怠感、脱毛など深刻な症状に苦しめられました。無線長の久保山愛吉さんは翌年に亡くなられ、「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」という言葉を残しました。質問コーナーでは「被災したのは第五福竜丸だけだったのか」など、参加者から活発な質問が出されました。これほど大きな木造船が現存していること自体が貴重であり、今日まで保存・維持されてきた背景には、多くの市民による粘り

強い運動と努力がありました。核兵器の恐ろしさと平和の大切さ、そして歴史の教訓を語り継いでいくことの重要性を改めて実感しました。ぜひ多くの組合員にも一度足を運んでほしいと思います。【建築設計支部いしずえ分会 書記長 古橋 正好】



新建築家技術者集団東京支部、東京建設・関連部会、いしずえ分会、東部支部の仲間13名が参加しました

労使の緊張感と強調で刻んだ歴史

神田支部 80周年レセプション

神田支部は、組合員結成80周年を2026年3月3日に迎え、記念式典を5月17日(日) 13時から東京ドームホテル「天空」にて執り行い、来賓58名、執行委員と職場参加者156名が参加しました。都本部からは、笹原書記長と江部常任執行委員に参加して頂きました。冒頭、主催者挨拶として「本日のレセプション参加に御礼申し上げます。先人たちの努力、そして、今日の仲間の努力によって現在に至りました。どんな時代でも、労使が緊張感を持ち、かつ、

お互いに協調し良い関係でなければなりません。特にこの10年間、国内外で情勢が急速に変化し、労働組合としても新しくチャレンジする機会となりました。チャレンジの一環として、イメージアップの為にイメージキャラクター『かんP』の作成や、共済制度の見直し、組合員と執行委員との連携強化など、成長の道を作ってきました。」と申し上げました。その後、カンダホールディングス原島社長、中央本部足立委員長より激励の挨拶があり、4重奏の演奏や、鏡開きなど2時間のレセプションは大変盛り上がり、無事終了しました。



神田支部 執行部のみなさん



【執行委員長 上村 誠】

今後とも都本部の中心支部として更に尽力します。共に頑張っていきましょう。益々のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

6.11 東京労働局交渉

～トラック・バスの職場の労働条件改善を要請～

東京都本部は、バスとトラックの労働条件改善を求めて春の労働局交渉を行いました。トラック業界の長時間労働や改善基準告示違反の課題について労働局は「働き方改革による残業時間規制が個々の職場単位では解決出来ない」と実感している。荷主含めて業界を変えていく必要があると感じている。要請内容を本省(厚労省)に伝えます」と回答。バスの課題として会社が変形労働制を採用しているにも関わらず残業が常



九段下合同庁舎11階会議室で開催されました

組合掲示板

- 7月10日(金) 10時半～東京春闘共闘官民共同要請/国交省
- 7月11日(土) 14時～第7回業種部会活動報告学習交流集会/リモート併用・神田支部会議室
- 7月27日(月) 15時～東京都交渉/第二本庁舎1F二庁ホール
- 8月 4日(火)～6日(木) 原水禁2026年世界大会in広島

神奈川中央交通(神奈中バス) 自死労災不認定取消訴訟

バス関連(京王新労組)支部は都本部において唯一のバス職場の支部です。建交労に加入する以前から「バス部会」というバス職場労働者が集っている交流会の中心を担っています。この事件は、バス部会に相談があったのが8年前、神奈中バスの職場からの応援を受けながらたたかいた、都本部としても応援をしていただいています。

◆事件のあらまし

被災者は2018年に自死し、ご遺族の労災申請を労働基準監督署が不認定決定しました。審査官、審査会で追認したことから、労基

署(行政)の不認定の取り消しを国に求めている裁判がこの事件で

◆東京地裁の判断

死亡前に精神疾患に陥っていた。死亡前に精神疾患に陥っていたとする天竺代々木病院勤務医師の鑑定書を付け、医師本人が法廷での証言までしましたが、認めませんでした。裁判所は会社から出された職場班長・副班長の、口裏を合わせた証言を鵜呑みにして、原告側証人の証言を取り上げない不当な判決でした。ご遺族は、長いたたかいで大変な状況ですが、バス関連支部を中心とするバス職場の仲間の励ましを受け即日控訴したたかいかを継続します。都本部のみなさんにもご支援をお願いします。【執行委員長 佐々木 仁】

態化していることについて労働局は「はじめから残業ありきの変形労働制の採用は制度の趣旨に反しており36協定を結んでいるから良いとは言えず、そのような経営者には指導していきたい。要請内容を本省に伝えま

す」と回答。少なからず共感を得る回答があったのは運転手不足という国民的課題が深刻化していることに起因しているためだと思います。引き続き、秋は建設と高齢者の課題について要請

【書記長 笹原 和樹】